

授業科目名	チーム医療論(2300204)		
時間割名	チーム医療論(32204)		
時間割担当	守本とも子 辻下守弘		
実施期	後期	単位数	1 必修
曜日・時限	水・2		

授業の目標・概要

チーム医療の歴史を学び、現代におけるチーム医療の在り方について考察する。チーム医療における協調性、責任感、コミュニケーション能力の必要性を理解する。さまざまな専門分野の機能や役割を学び「学際性」を伸ばすことにより、医療現場において必要とされる資質を習得する。

(単位認定者 / 辻下守弘)

(オムニバス方式 / 全8回)

(守本とも子 / 2回) チーム医療の重要性について理解する。看護領域におけるチーム医療の変遷について学ぶ。そして現在のチーム医療のなかでの看護師の位置づけおよび看護師が果たす役割について理解する。また、チーム医療における看護の在り方および今後の課題について考察する。

(辻下守弘 / 6回) 患者を中心とした質の高い医療の提供を目標に、チーム医療の構成員として自身の専門性を活かし積極的に医療に参画する事ができるようになるために、医療の流れ、チーム構成員の職能、医療倫理を始めとするチーム医療の基礎知識を習得する。また、我が国の保健・医療・福祉システムについて、システム・成員の連携、外国との比較等を学ぶ。

学習の到達目標

1. 今日の医療におけるチーム医療の意義と重要性を学ぶ。
2. チーム医療のなかでの看護師の位置づけおよび看護師が果たす役割について理解する。
3. チーム構成員の役割と連携のあり方を理解し、我が国の保健・医療・福祉システムについて学ぶ。

授業方法・形式

基本的には講義形式で授業を進める。適宜、DVD教材を活用した授業を行う。

授業計画

第1回 チーム医療において各職種がそれぞれの専門性を持ち、連携をしながら個性を尊重した患者への医療をおこなっている。このような実態を把握し、チーム医療の意義と重要性を講義する(守本)

第2回 看護領域におけるチーム医療の歴史と変遷を講義し、今日、チーム医療のなかでの看護師の位置づけおよび看護師が果たす役割を講義する(守本)

第3回 チーム医療の構成員について各職種の専門性と役割・機能について講義する(辻下)

第4回 チーム医療におけるリハビリテーションの役割と機能を講義する(辻下)

第5回 チーム医療における医療倫理や協調性、コミュニケーション能力などの基礎知識を講義する(辻下)

第6回 チーム医療の流れを概説し、我が国の保健・医療・福祉システムについて講義する(辻下)

第7回 チーム医療の実際について具体例を示しながら講義する(辻下)

第8回 まとめ (辻下)

成績評価の基準

定期試験100%

授業時間外の課題

チーム医療の実際について体験記などの文献を読み、チーム医療の意義と重要性を考える。

メッセージ

チーム医療は対象を様々な視点から理解し、ケアしていく全人的医療を目標としている。

これからの保健・医療・福祉の現場で、重要なキーワードとなるため、関心を持って授業に臨むこと。

教材・教科書

特定のテキストは使用せず、授業内容に関する資料等を配布する。

参考書

参考図書、参考文献等については適宜、情報を提供する。